

# 媒体間の提携で合意

## SHOCHU NEXT 世界に焼酎の情報を発信



クラフト蒸留酒に特化して、国内に発信するメディア「SHOCHU NEXT」(中山大希編集長)と、海外に向けて日本の酒文化を紹介するメディア「Nomunication.jp」(リアム・マクナルティ編集長)は、本格焼酎・泡盛を中心とした日本のクラフト蒸留酒の魅力在海外に発信すべく、媒体間の提携に合意し、11月1日、本格焼酎と泡盛の日本から業務を開始した。

日本酒やジャパニーズウイスキーと比べて本格焼酎・泡盛は海外での知名度は低い状態にある。一方で、官公庁や地方自治体、JETROなど国を挙げて本格焼酎・泡盛を支援し、輸出を拡大しようとする動きは活発化しており、今回、両媒体の提携により、そうした動きをさらに推し進めていくのが狙い。最初め取り組みとして「SHOCHU NEXT」に掲載される本格焼酎・泡盛の魅力や業界の動きなどを紹介する記事を毎月3本程度翻訳し、「Nomunication.jp」に掲載。国内外に発信していく。

10月28日に都内で開いた説明会で、中山編集長は「海外に向けた本格焼酎の情報発信は、業界のみならず国としても課題だった。『SHOCHU NEXT』は、日本産酒類のブランド化推進事業の第一目に認定され立ち上げた事業だが、海外の人たちにさらに本格焼酎を知ってもらうため、今回、媒体間の提携で合意したと説明した。リアム編集長は、「本

なる。蔵のビジネスにも寄与できると思うので、フル活用してもらいたい」と話した。

その中山編集長は、「これがビジネスに結び付いていくかという難しいかも。しかし、南山物産は日本一、世界一、本格焼酎を世界に届ける商社を目指してきた。本格焼酎を知ってもらうためにできることは何でもやる。海外で本格焼酎を広めていくという、使命感を持ってやろう」と語り、リアム編集長も、「本格焼酎は、情報の発信が一番の課題だったので、まずは情報発信を行う。将来的にはウイスキーのフェスやイベントのように、本格焼酎のイベントも実施し、業界を盛り上げていきたい」と語った。

【SHOCHU NEXT】  
本格焼酎や日本酒などの輸出を行う南山物産(東京都港区、中山大希社長)が2021年1月に立ち上げたクラフト焼酎ブランド「Nomunication.jp」に蔵のストーリーが掲載されれば、その魅力を海外に届ける。焼酎の価値と魅力を掘り起し、クラフトにフォーカスをあてたさまざまな記事を発信している。

【Nomunication.jp】  
ウイスキーやスピリッツ、カクテルやバーなど日本の酒文化を英語発信するライフスタイルブログで2016年11月に設立。ニュースや商品レビュー、イベントレポート、業界インサイトなどをさまざまな情報を世界に向けて発信している。